

1. 農産物

- 黒川の売りとなるような新規農作物、郷土作物、加工品を作り、農業を活性化させたい。
- 禪寺丸柿は昔、姫の周囲に植えられていた。
- ⇒郷土作物の発掘、伝統野菜の調査。
- ⇒新規作型や新規農産物の試作。
- ⇒商品化可能性調査、試験販売。
- ⇒農家等への栽培普及促進。
- ⇒商品普及検討。

2. 加工品

- ◎自分の食料品（加工品）を売れるお店が欲しい。
- ◎特産品が欲しい。

⇒農産加工品の検討・商品開発。

⇒商品化検討（販路、販促等）。

3. 各種農園

- ⑩農園開設にあたってのデメリットとメリットについての周知が必要。
- ⑪農業者の意向やニーズ、現状の問題点をふまえた取り組みの推進。
⇒農業者へのヒアリング

4. 地域のイベント、活動、ボランティア

- ◎地区の2ヶ所でどんど焼きをしている。
- ◎イベントで地域を活性化させ、農作物の販売促進につなげる。
- ⇒農と環境が体感できるバスマスター実施。
- ⇒麻生の農と環境を考える（食育）
～夏休み親子体験教室～
- ⇒里地里山での体験イベントの実施。

5. 散策路・道路・交通

- ◎ルート検討の前に、ゴミ等のマナー対策の検討をしてほしい。
- ◎既存のルートをより良くしていきたい。
- ◎基本のオススメルートのみの情報をマップとして出したい。
- ◎セレサの近くの川沿いの道に人を迂回させたい。
- ⇒黒川地区情報マップの作成
- ⇒体験型ウォーキングコースの検討
- (cf. ★★★★★ あさおウォーキングコース)
- ⇒下草刈りのボランティアを集めて、散策路の清掃イベントを実施。

9. 大学との連携

- ◎明治大学黒川農場との連携やコミュニティづくりが必要。
⇒新規作物、郷土作物、加工品の企画、研究、開発。
- ⇒大学生との販売方法に関する検討。
⇒大学と連携した企画・研究・開発。
- ⇒農を通じたコミュニティづくり。
- ⇒明大收穫祭への協力
 - ・明大收穫祭での禅寺丸柿 800 周年 PR。
 - ・黒川産野菜を使用したスイーツレシピ作成。
 - ・明大收穫祭での里地里山活動の事例発表。

10. PR・情報発信

- ⇒やにくむに情報が流されて地元が迷惑する場合がある。
- ⇒情報の掲載の仕方の検討。
- ⇒段階を追って、情報提供する事が必要。
- ⇒農と環境のホームページによる情報発信。

6. 景觀

◎農ある景観の保全
⇒「農と里山の写真コンクール」の開催。

• 7. 動植物・樹木・樹林

⇒里地里山の保全と豊かな自然のアピール

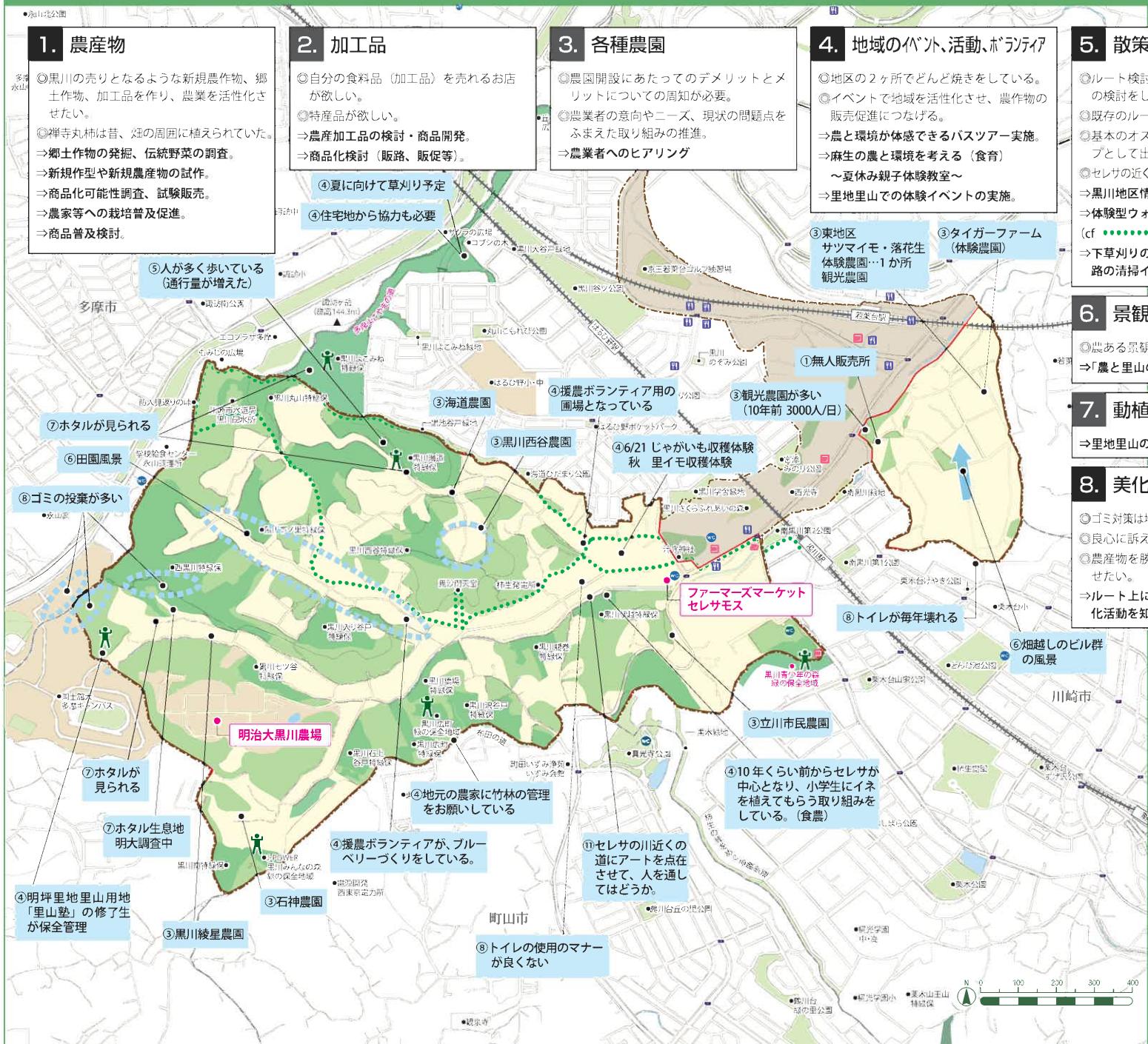
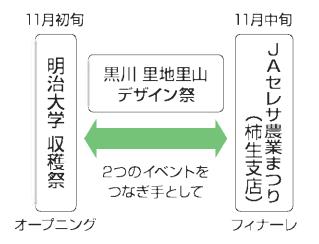
8. 美化・マナー

- ◎ゴミ対策は地元が考えないうまく進まない。
- ◎良心に訴える方が効果的。
- ◎農産物を勝手に採ってしまう事を防止させたい。

⇒ルート上に看板を立てたり、来訪者に美化活動を知ってもらう。

11. (仮)黒川里地里山デザイン祭

- ◎アートイベントへの関心が高い。
- ◎来る方にもファンになってもらう手法を検討する。
- ⇒芸術体験も出来るルートの検討。
- ⇒大学生や地域住民との協働。
- ⇒農と環境月間の設定。



- | | | | |
|---|------|---|-----------------|
|  | コンビニ |  | 里地里山保全等地域 |
|  | 飲食店 |  | 農業振興地域 |
|  | トイレ |  | 特別緑地保全地区・緑の保全地域 |
|  | バス停 |  | 公園など |
|  | 病院 |  | 樹林地 |
|  | 市境 |  | 保全管理団体 |